

〇 いわてポラーノの会、いわて女性の活躍連携会議農山漁村で輝く女性部会 合同研修

1. 研修の概要

いわてポラーノの会の理事と、「いわて女性の活躍促進連携会議」の「農山漁村で輝く女性部会」の委員が、お互いの活動について情報共有を図り、今後、更なる女性活躍の推進を目指すことを目的に合同研修を開催した。

はじめに、6次産業を実践している女性農業者（岩手県に認定された「食の匠」）を講師に、販売している和菓子の作り方の講習を受け、また6次産業化に取り組むこととなったきっかけや課題などの話を伺った。

続いて、お互いの活動紹介をし、意見交換を行った。

2. 取り組みのきっかけ

いわてポラーノの会と農山漁村で輝く女性部会とは、いずれも、農林水産業に携わる女性の活躍促進と、活力ある農山漁村の実現に向けて、さまざまな取り組みを行ってきたが、これまで主だった交流はなかったことから、相互理解を深める機会として実施したもの。

3. 具体的な取り組みの内容

1 料理講習会

講師の居住する紫波町の特産品であるもち米と、キャンベルブドウジュースを使った和菓子「紫ひめ」を参加者全員で作りと、交流を図った。

2 意見交換会

農山漁村で輝く女性部会は、若手の委員が多く、農業委員会に対しては「父の仕事で、自分には近い存在ではない」、「男性の領域というイメージが強い」という意見があった他、農家の現状として「一緒に農業をしても、情報は父や夫など男性側で完結し、女性には届かない」という声があった。

ポラーノの会の理事からは、農業委員会で取り組んでいる活動の紹介のほか、「今は男女ともに隔てなく仕事をしている。皆さんのように若く、意欲のある女性が、もっと農業委員会について知り、次を担ってほしい」と話し、農業委員会の現状を理解してもらえる機会となった。



料理講習会の様子



「紫ひめ」



意見交換会の様子